



# 花のある 空間

大高 令子

## 短くなった花を ミニボトルに飾る

今月の花材

モナルダ・エキナセア  
(赤い花) (ピンクの花)

アスター・ガズミ  
(白い花) (緑色の実)

クレマチス  
(緑色の蔓)

きれいに整理されて束ねられたブーケは少しでも長く飾っておきたいのですが、バクテリアが発生しやすくなる夏場はどうしても茎が傷みやすくなります。

そんなときは、「切り戻し」と言って傷んだ部分をカットして新しい切り口を露出させると長持ちします。

切り戻しを繰り返すと茎が徐々に短くなりますが、そんな花だけを楽しむ方法として、ミニボトルに飾って

みるアレンジはいかがでしょうか。

短く少量の花と小さな器の、素朴で可愛い飾り方です。特に暑い時期は、1つの器にたくさん入れたアレンジよりも、ボトルとボトルにできる間隔が風の通り道となって、涼やかに見えます。

まず、よく洗った小さな器を用意します。おしゃれなガラスの小ビンなどを再利用すると、多彩な色や形が楽しめます。

植物は、それぞれの茎の長さが均一にならないように、あえて長短をつくるようにします。切り口は斜めにカットしましょう。ボトルに挿す本数を少なめにすると、素朴な印象に仕上がります。それぞれのボトルは、一列、円形などスペースを考えた配置してください。

写真のようにトレイを使う場合は、大胆に余白をつくと軽やかな印象になります。